

『～ 県民みんなが創る「富山の新しい教育」へのメッセージ ～
《明日のとやまの教育が目指すべき方向》』のポイント

この提言報告は、学校教育、家庭教育、社会教育の分野を広く含んでおり、このような教育全般に係る振興方策に関する提案が、県民の各界各層の意見をベースとしてまとめられるのは、本県としては初めてです。

本報告の主な特徴は、次のとおりです。

(1) 県民にメッセージとして発信し、県民総ぐるみで教育に取り組むことを呼びかけています。

本県教育をとりまく課題や振興方策に関する各委員の意見に基づき検討された、「明日のとやまの教育」について、県民のみなさんへのメッセージとして発信し、県民総ぐるみで取り組んでいくことを、呼びかけ、うったえかけています。

(2) 「明日のとやまの教育」の基本理念として
「富山から世界へ羽ばたき、未来を切り拓く人間の育成」を掲げています。

この基本理念には、ふるさと富山をこよなく愛し、広く世界に目を向け、自らの夢や目標に向かってチャレンジ精神で、未来を切り拓き、富山や全国そして世界を舞台に様々な分野で活躍し、富山県や日本の活力ある社会づくりにしっかりと貢献できる人間を育てていきたいと思いますという呼びかけと、育てほしいという願いも込められています。

(注目すべき点)

基本理念を踏まえ、「目指すべき方向」として、4つの観点と12項目の提案が示され、その最初の観点の中で、「将来の夢・希望、チャレンジ精神を持つ」、「ふるさとに誇りや愛着を持つ」ことを提案として挙げ、これからの人材に必要なものを明示しています。

(3) 行政や学校だけでなく、家庭、地域、企業、大学まで、幅広く教育にかかわる者の役割をはっきりと、わかりやすく明示しています。(あまり例のない形式。)

県民総ぐるみで「明日のとやまの教育」を推進するため、教育に関わる者のそれぞれが果たすべき役割等を「取り組み、実現してほしいこと」として示し、県民にメッセージとして発信しています。

(注目すべき点)

特に、行政の役割の最初に『「富山スタンダード」の推進』という取り組みを提唱しています。

「富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある取り組みや環境整備を、いわば「富山スタンダード」として推進し、その成果を検証すること」が挙げられ、富山の特色を生かした富山ならではの教育活動の推進や、質の高い教育を支える広い意味での環境整備(教員の資質向上、家庭・地域の教育力の向上 等)を推進し、成果を検証しながら、質の高い教育を進めることを提唱しています。

(4)「富山の新しい教育」の具体的な方策として、12項目の提案(取組方針)別に、39の「小提案項目」を挙げ、さらに140の「取組み例」を挙げています。

140の取組みの中には、「あるべき姿を示しただけのもの」や、「既に行われている取組み」、「これから取り組んでいただきたいもの」など、いろいろな提案が含まれているが、家庭、学校、地域、企業、大学が結びつきを強め、これらを着実に推進していくことを目指しています。

(注目すべき点)

教育課題等に効果的に対応するため、「富山の新しい教育の具体的な方策」の中から「特に重点的に取り組むべき事項」を挙げています。

<主なもの>

観点1 変化する社会に果敢にチャレンジし、生き抜いていく確かな力を育てる

視野を広げ、社会性や感性、勤労観等を養う(14歳の挑戦等)各種の体験活動等の推進

経済団体やPTA等と連携した「キャリア教育」、「ものづくり教育」の推進

高校生が郷土や近現代の日本の歴史を学べる機会の充実等

郷土の自然、文化への理解を深め、それらに育まれたふるさとの文学に親しみ学ぶ活動や

ふるさとの誇りと愛着を養う取組みの推進

理科支援員の派遣等による理科教育の充実、思考大会や科学オリンピックの開催等による

思考力や理数能力を伸ばす取組みの推進

観点2 優れた知性、豊かな心、たくましい体を持った「元気とやまっ子」を育てる

とやま型学力向上プログラムの普及や授業改善等による総合的な学力向上策の推進

「中学1年生の35人学級(選択制)」の導入(小学校1・2年生での少人数学級は堅持)及び

中1学級支援講師の活用による中1ギャップへのきめ細かい対応と生徒指導の充実

小学校3年生からの少人数指導の推進、小学校専科教員の拡充

家庭学習の習慣化に向けた取組みの促進(早寝・早起き・朝ごはん、わが家のきまり等)

スクールカウンセラーの全公立中学校配置、小学校及び教育事務所への配置の拡充による

教育相談体制の充実

PTAや地域との連携による「いのちの教育」の積極的な普及・推進

元気とやまウォークラリーなど家族でスポーツに親しむ機会の充実や食育・健康づくり教育の推進

観点3 家庭、学校、地域の教育力を結集し、子どもの教育環境づくりを進める

PTA等や企業と連携した「親を学び伝える学習プログラム」の普及と活用の推進

公民館等における異年齢との交流活動や子どもの自然体験活動、伝統・文化活動の推進

観点4 教育の質を高め、富山ならではの学校づくりを進める

「教師塾」の開設等による「富山の優れた教育実践(教育力)」を継承する仕組みづくりの推進

県立高校の再編統合に併せた「ものづくり中核校」や「探究科」など新しいタイプの学校・学科

づくりの推進、障害のある生徒の自立・就労を目指す高等養護学校の開設

小1プロブレム等の解消に向けた幼保小の連携の強化

(5) 提言の最後に、富山の子どもたちに育みたい大切な「心、姿勢、態度」を『5つの力』として掲げ、県民一人一人が、力を合わせて、子どもの教育に取り組んでいくよう呼びかけています。

最後の「明日の富山を担う子どもたちに育んでいきたい『5つの力』」は、基本理念に掲げられた「人間」に必要と考えられる「力」の中で、特に大事なものをまとめて示しています。

子どもたちも含め、県民一人一人がこうした「力」の意味を共有し、それを意識して、様々な教育や学習活動に生かし、実際に育んでほしいということと呼びかけています。